



木の温もりが溢れるリビングダイニング。素材には、和風にも洋風にも合うポルティン材を選択。たくさんの方が一堂に集まれるほどの広さを確保



古民家風の家づくりとアメリカンヴィンテージを感じる装飾がオリジナルな世界観を演出。Tさんがお好きなものを揃えたというランブレードが雰囲気にぴったり

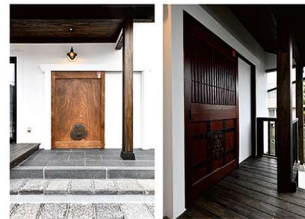
家づくりの
お宅訪問
Interview with new home!

REPORT #00



リビングの上の吹き抜けには、明かり取りの窓を配置。階段を優しく灯すアンティーク調の照明もTさんのコレクションだ

左、扉をイメージした外観の玄関部分と勝手口にも、大正時代の本物の「勝手」を使用。圧倒的な存在感を醸し出している。／右、勝手口の勝手



次第に戸建てを考えるようになり、30件ほど工務店を巡りました。大正口マンを感じる古民家風の住まいを希望してモデルハウスを訪ねましたが、イメージを共有できる工務店となかなか出会うことができませんでした。その後、訪れたのが、古民家を再生した「ハウスランド社」のモデルハウス。「そうそう、この感じ！とすぐに気に入ってその日のうちに決めました(笑)」と当時を振り返る。無垢の木に漆喰の壁、剥き出しの梁。自然素材の優しさに包まれるハウスランド社の住まいに、Tさんが以前から集めていたというランブレードや小物が絶妙にマッチ。確かな腕と技を持つ職人たちの手により、唯一無二の独創的な住まいが完成した。



息子さんがいなくても同級生が自然と集まってくるという家はいつも賑やか

探し続けて辿り着いた
本物志向の家づくり

閑静な住宅街に行き着くような外観の家は、古民家風の家づくりを得意とする「ハウスランド社」とアメリカンヴィンテージが大好きなTさんのコラボによるオリジナルテイストな住まい。Tさんはもうすぐ大学生になる息子さんがいる。小さな頃から野球に打ち込み、甲子園球団として注目を集めた自慢の息子さんの大学進学をタイミングで、住み慣れた地域に家を新築することを決めたという。「最初

福岡市南区在住 Tさんの住まい

誰もがくつろげる！ 新しくも懐かしい住まい

蔵のイメージとアメリカンヴィンテージをミックス。自然素材やデザインにこだわり抜いた家は、[ハウスランド社]だから叶えられる独創空間に。訪れる人がついつい長居してしまう居心地満点の住まいが誕生!

